

耐熱性原核生物由来UMPキナーゼ (80°C)

Cat. No. CEGZ-6403

Lot. No. (See product label)

はじめに

■明 UMPに■する強い基質選■性を有し、アロステリック制御および80°Cまでの熱安定性を示す組換え原核生物由来UMPキナーゼ。

用途 ピリミジンヌクレオチド代謝におけるUMPの研究およびin vitroリン酸化、ならびに高温条件下でのヌクレオチド■換ワークフロー向け。

別名 UMPK; ウリジル酸キナーゼ; ウリジナーリン酸キナーゼ; ATP: UMPホスホトランスフェラーゼ

製品情報

種	細菌性
由来	組換え大腸菌 (E. coli)
形態	液体
EC番号	EC 2.7.4.22
CAS登録番号	9036-23-1
分子量	26.6 kDa
熱安定性	80°Cまでの耐熱安定性を有する
特異性	主にUMPを基質とし、二次基質としてGMPに作用するが、CMPに■する活性は著しく低い。UTPにより阻害され、GTPにより活性化される。
活性化因子	GTP (適正技術規範)
阻害剤	UTP
基質	ATP; UMP; GMP; CMP
反応	$ATP + UMP = ADP + UDP$
備考	大腸菌 (E. coli) で産生した組換えタンパク質を、熱処理およびHis6タグアフィニティークロマトグラフィーにより精製した。最適な反応時間および酵素濃度は、基質により■動する場合がある。
プロトコル	70 mM Tris-HCl (pH 7.6、50°Cにて) 10 mM MgCl ₂ 5 mM UMP 6 mM ATP 酵素 0.04 g/L 50°C、終夜反応
使い方	研究用途およびin vitro (体外) 用途にのみ使用してください。

保管・発送情報

保存方法 -20°C